

新基地建設反対名護共同センターニュース

「辺野古」中止・普天間返還を



衆院沖縄3区補選（4月9日告示、21日投票）に「オール沖縄」から立候補する屋良朝博氏（フリージャーナリスト）が10日、沖縄市で政策発表しました。屋良氏は辺野古新基地建設反対、普天間基地閉鎖・撤去など「建白書」実現を公約し、国政からデニー県政を支える決意を表明しました。

記者会見には玉城デニー知事、城間幹子那覇市長、山川仁豊見城市長、屋良氏の選对本部長・仲里利信前衆院議員なども同席しました。

屋良氏は最重要課題として、辺野古の新基地建設によらない普天間基地の即時全面返還など「建白書」実現を掲げました。また、経済振興や暮らしの向上に向け北部地域の活性化など提案しました。

「オール沖縄」会議は9日、調整会議で県政与党や労組など「オール沖縄」の衆院3区の候補者として、屋良朝博氏を支援することを確認しました。同補選には自民党から辺野古新基地を容認する前参院議員の島尻安伊子氏が出馬表明しており、事実上の一騎打ちとなるとみられます。

衆院3区補選 屋良候補が政策発表

写真は選挙勝利を祝う屋良氏（前列左から3人目）、デニー知事（その右）など

土砂投入を許さない！ジュゴン・サンゴを守り 辺野古新基地建設断念を求める

3・16 県民大会

県民投票で新基地建設反対の圧倒的民意が示されました。日本が民主国家ならこの民意を無視して工事を強行することは許されません。デニー知事は公務のため謝花副知事が代理で出席します。各地島ぐるみなどからバスがでます。誘い合って参加しましょう。

日時・3月16日（土）

開場：13時 開会：14時 閉会：15時

会場・那覇新都心公園

主催・辺野古新基地を造らせない
オール沖縄会議

「民意無視の工事強行許せない！」

東葛法律事務所がツアーで辺野古視察

千葉・松戸市の東葛総合法律事務所（所長・蒲田孝代弁護士）は8日、弁護士や事務員のツアー14人が辺野古の浜のテントとゲート前を訪れ新基地建設反対のたたかひの現場を視察しました。



浜のテントで、共同センターのスタッフから説明を受け、ヘリ基地反対協の安次富浩代表から挨拶を受けました（写真）。

ある参加者は「県民投票で明確な民意が示されたのに、土砂を運ぶ現場を目の当たりにし、安倍内閣への怒りが沸いてきました」と話していました。

「障がい者辺野古のつどい」へのメッセージ ②

憲法の基本的人権の尊重、平和主義の適用を求め、ともに闘いましょう



きよすえ あいさ
清末 愛砂

室蘭で「辺野古・高江」北海道闘争団を結成し、辺野古には7回の代表を派遣してきました。わたくしが定期的に座り込みに行くのはなぜなのか。

新基地建設を含む沖縄における米軍基地の存在は、日本国憲法の基本的人権の尊重原理や平和主義原理を完全に否定するものだからです。

沖縄の人々の平和的生存権が著しく脅かされている現状に対し、一人の研究者、一人の市民として抵抗の意を示さなければならぬと思っています。また、平和的生存権の確保を求める闘いとしての座り込みなどの一連の行動は、日本国憲法が保障する表現の自由の行使であり、極めて正当なものだからです。

国家権力がそれに対して弾圧を加えることは、認められません。国家権力による直接的監視や民間企業を介しての監視もまたこうした弾圧に含まれます。絶対に許されない違法な行為です。

子どもの教育へのアクセス権、地方自治、環境権などの観点から考えても、米軍基地の建設強行は憲法上の多角的な権利を否定するものです。

日本政府はあからさまな植民地支配者として沖縄の人々を蹂躪しています。植民地支配を支え続けることをわたしは、はっきりと否定します。

基本的人権の尊重原理や平和主義原理がないがしろにされ続けている状況に対し、わたしははっきりとものを言い、行動を続けます。

日本国憲法の真に平等な適用と圧政からの解放を求めて、ともに闘いましょう。

（室蘭工業大学大学院准教授・憲法学）